

令和4年6月10日

新型コロナウイルスワクチンをまだ接種されていない妊婦のみなさまへ

日本産科婦人科学会 理事長 木村 正  
新型コロナウイルス感染対策委員会 委員長 川名 敬

第6波以降、新型コロナウイルスの感染状況は落ち着いてきましたが、海外では、感染力の高い変異株コロナウイルスが増え始めているとの報告があり、今後、国内でも第7波が来る可能性は否定できません。一方、厚労省は、妊婦さんに新型コロナウイルスワクチン接種の努力義務を課すことを定め、妊婦さんへの接種をお勧めしています。

本会が実施した調査(R3年11月末時点)では、2回目接種を終えた妊婦さんは、調査した妊婦さんの70%以上と高い接種率となっていました。また、今回取りまとめられた国内でのレジストリ報告(5月5日までの登録例:[https://www.google.com/url?q=https://www.jsog.or.jp/modules/news\\_m/index.php?content\\_id%3D1221&source=gmail-imap&ust=1655366720000000&usg=AOvVaw1j8qwDUhhdqeZj1cZt4vb-](https://www.google.com/url?q=https://www.jsog.or.jp/modules/news_m/index.php?content_id%3D1221&source=gmail-imap&ust=1655366720000000&usg=AOvVaw1j8qwDUhhdqeZj1cZt4vb-))では、ワクチンを接種したことがわかっている妊婦さんの中に、中等症Ⅱ以上の方はいらっしゃいませんでした。ワクチン接種による新型コロナウイルスの感染予防効果は、オミクロン株においても確認されております。国内の新型コロナウイルス感染妊婦さんの調査結果からは、ご本人と赤ちゃんの生命を守るためにも妊婦さんは感染予防の重要性がより高いと考えられます。現在妊娠中の方のなかには、ワクチンの接種機会を逃され、一度も接種を受けないまま妊娠された方もいらっしゃると思います。まだ新型コロナウイルスワクチンを接種されたことがない妊婦さんは、ぜひ接種をご検討ください。

なお、既に3回接種を終えている妊婦さんの4回目接種については、自治体によって対応が異なります。お住まいの自治体や産科担当医にお問合せ、ご相談ください。

以上